



皇和電機株式会社
<http://www.seiwa.co.jp/>
京都府城陽市寺田新池36番地
TEL: 0774-55-8181

経営理念

人材の開発と相互信頼に努め、
新技術に挑戦して、
社会に貢献する。

株主のみなさまへ	1
財務ハイライト(連結)	3
事業別の概況(連結)	
情報機器事業	5
照明機器事業	6
コンポーネント事業	7
トピックス	8
新製品のご紹介	9
財務の状況(連結)	11
財務の状況(個別)	12
会社概要	13
株主メモ	14

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて当社グループ第67期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)の事業が終了しましたので、その概要をご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、政府の金融経済対策により円安株高傾向が続き、企業業績の回復や雇用環境の改善がみられ、堅調な公共投資も下支えとなり、景気は徐々に回復基調となりました。しかしながら、円安による原材料価格の上昇、海外経済の下振れ懸念など依然として景気の先行きは不透明な状況が続きました。

このようななか、当社グループにおきましては、販売力とものづくり力の強化に向けて、ソリューション営業を通じた顧客満足の上と市場ニーズに対応した製品企画・開発の促進に取り組んでまいりました。

この結果、民需関連製品ではLED照明器具、公共投資関連製品では、道路情報機器、トンネル照明器具の売上が伸びたことにより、前期に比べ増収増益となりました。

その結果、当期の売上高は225億14百万円(前期比6.2%増)、経常利益は9億円(前期比79.5%増)、当期純利益は9億42百万

円(前期比52.2%増)となりました。

当期の配当につきましては、1株あたり8円とさせていただきます。

次期の見通しにつきましては、政府の経済対策を背景に公共投資の堅調な推移が続く見通しで、日銀の金融政策もあいまって民間設備投資も回復に向かうことが期待されます。しかしながら、中国をはじめ新興国などの景気減速による海外景気の下振れ懸念などで、景気の先行きは不透明な状況が続くと予想されます。

このようななか、販売においては、ソリューション営業の実践とマーケティング力強化により既存事業の維持と新分野開拓に挑戦し、顧客満足度の向上と新商品企画の促進に努めてまいります。また、生産においては設計開発力の向上と市場への製品リリースのスピードアップを図るとともに、生産性の向上と製品品質の向上に努めて、競争力ある生産基盤の構築を目指します。

さらに、全事業分野にわたり社会の発展に寄与する独創的な商品の提供はもとより、省エネルギーを実現する商品の開発を促進し、地球環境に向けた取り組みを進めるとともに、品質・安全性の確保を図り、顧客満足の一層の向上に努めてまいります。

とりわけ照明分野では、従来型照明からLED照明への切替

需要が急速に拡大しています。このような状況のもと、当社におきましても市場のニーズに応えるべく、主力である産業用照明器具、道路・トンネル照明器具のLED化を推進し、積極的に展開してまいります。さらに開発のスピードアップと顧客満足度向上を目指す提案営業活動により推進力を高め、LED照明事業の業績拡大を図ってまいります。

さらにひきつづき全社を挙げて内部統制の確立、コーポレートガバナンスの強化、コンプライアンスの徹底に取り組んでまいります。

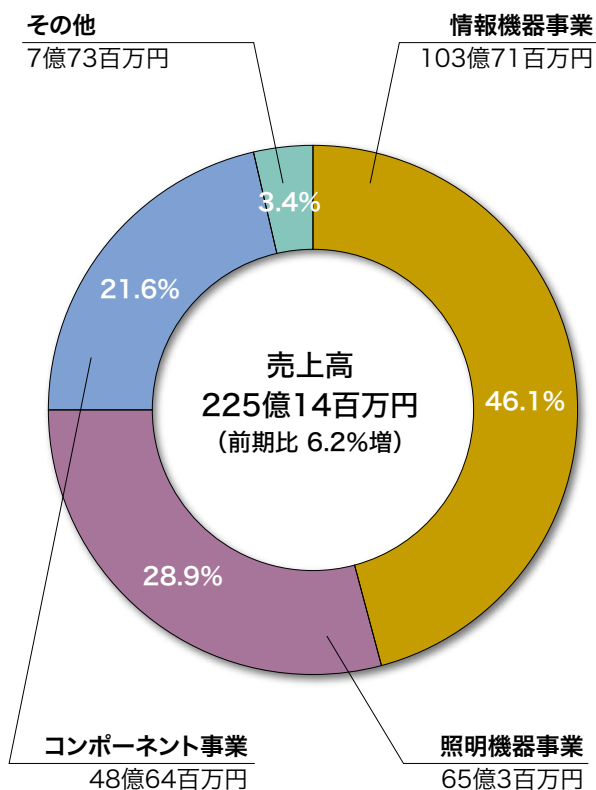
株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年6月

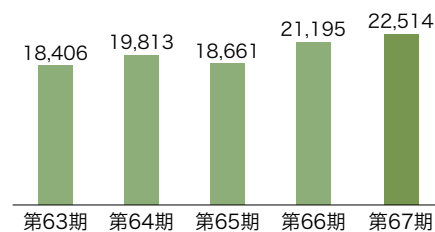


取締役社長
増山晃章

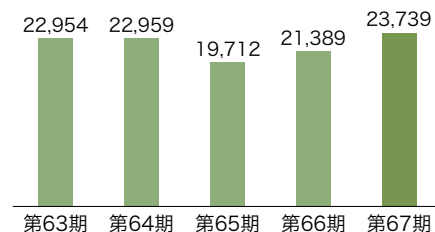
財務ハイライト(連結)



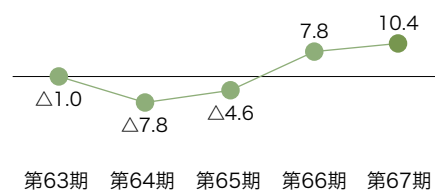
売上高 (単位:百万円)



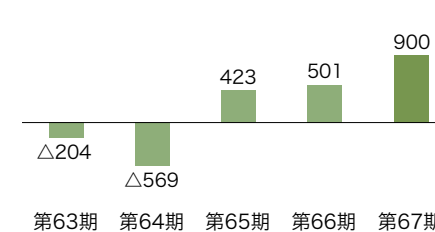
総資産 (単位:百万円)



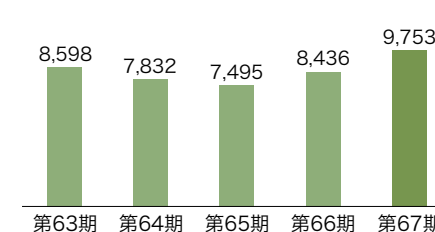
自己資本利益率 (単位:%)



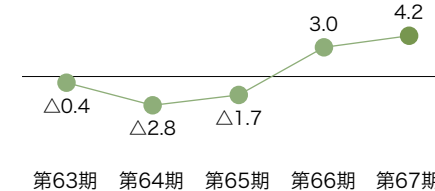
経常利益 (単位:百万円)



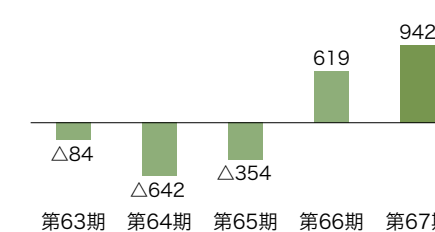
自己資本 (単位:百万円)



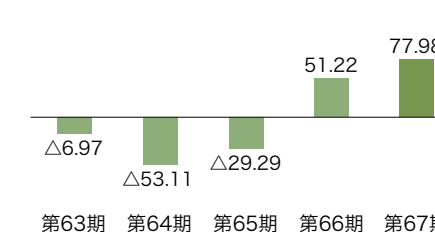
総資産利益率 (単位:%)



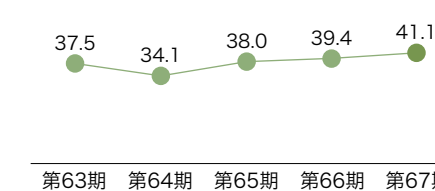
当期純利益 (単位:百万円)



一株当たり当期純利益 (単位:円)

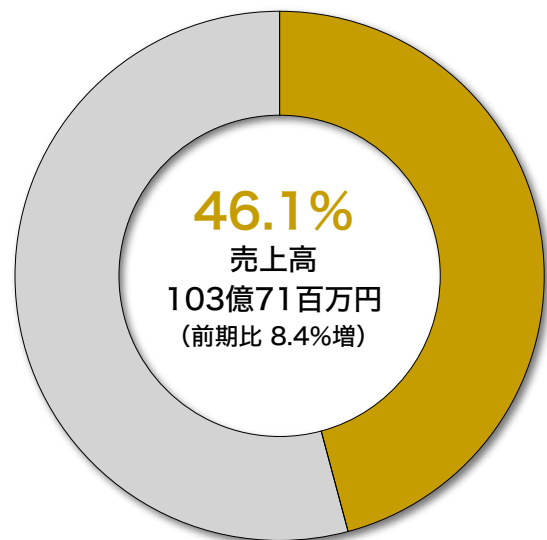


自己資本比率 (単位:%)



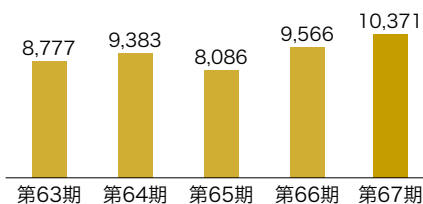
事業別の概況(連結)

情報機器事業



主要製品: 情報表示システム トンネル防災システム
LED式信号機

売上高(単位:百万円)

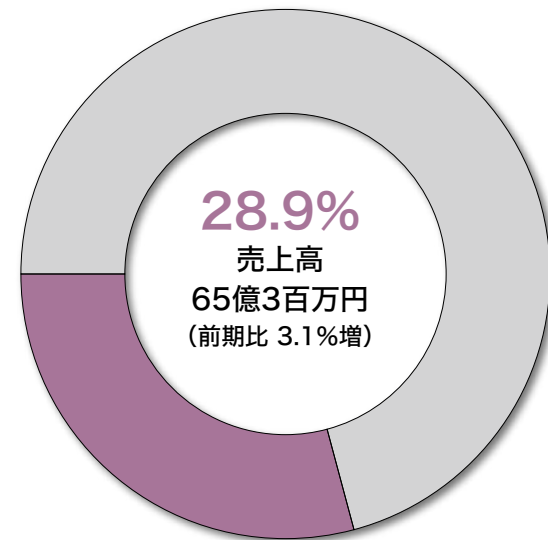


情報表示システムは、道路情報を主に、河川情報表示システム、トンネル防災システム、LEDによるインフォメーション・ディスプレイ、LED式信号機など、高度情報化時代にふさわしいコミュニケーションツールとしてあらゆるシーンへの対応を積極的に展開しています。



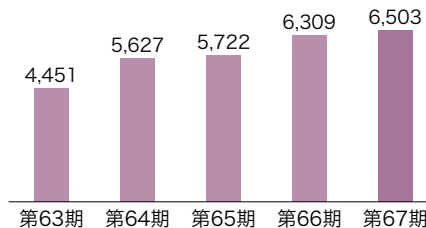
この事業の主力製品であります道路情報機器において、公共投資の堅調な推移のなか、高速道路向けの売上が増加しました。

照明機器事業



主要製品: 照明器具 制御機器 LEDモジュール製品

売上高(単位:百万円)



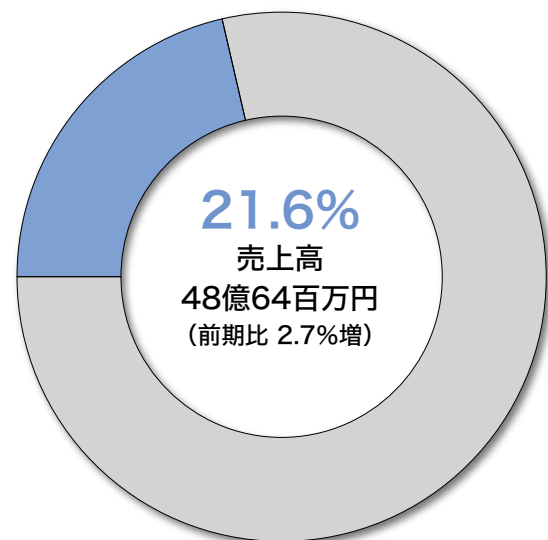
「安全で人にやさしく」を開発テーマに、一般道・高速道路の照明やトンネル照明、産業用照明(防爆・防水関係)、街を彩る街路照明、ライトアップ用の景観照明など、LEDを光源とした各種LED照明に多くの実績を誇っています。特に、産業用照明の分野では「工場丸ごとLED化」を展開し、工場内の各所向けにLED照明をラインナップしています。



民間設備投資関連の産業用照明器具において、LED照明器具は堅調に推移しましたが、従来型照明器具はLED化の動きによる需要の減少をうけて低調に推移しました。一方、公共投資関連はトンネル照明器具を中心に増加しました。

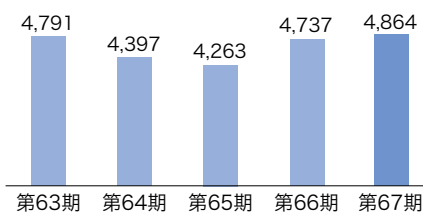


コンポーネント事業



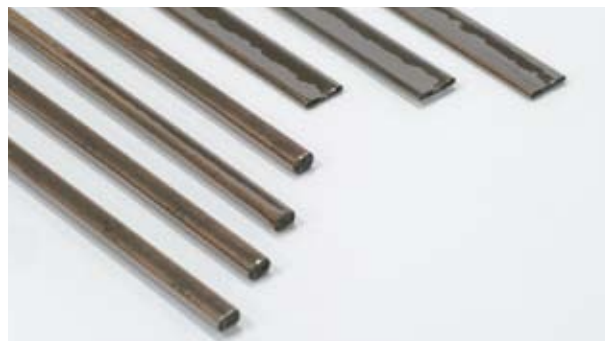
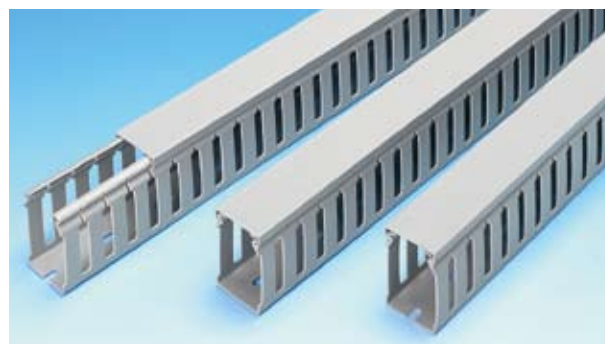
主要製品: 配線保護機材 配管保護機材
電磁波環境部品

売上高(単位:百万円)



配線保護機材分野のパイオニアとして環境対策製品の開発にもいち早く取り組んでいます。

また、世界のEMI規格、イミュニティ規格に対応する電磁波環境部品を幅広くラインナップし、さまざまな用途に対応しています。



配電盤や機械装置に用いる産業用配線保護機材は堅調に推移しましたが、エアコン用の配管保護機材は消費税増税の影響を受けて低調に推移しました。また、電磁波環境部品は微増となりました。

KBS京都にてテレビCMを放送中

星和電機の企業イメージCMを作成し、現在KBS京都にて放送しています。

私たちの身の回りにある道路情報板、トンネル照明や街路灯を紹介しながら、安心、安全を技術でお届けする星和電機をPRしています。



新東名高速道路へ LEDトンネル照明器具の納入を開始

新東名高速道路(愛知県区間)向けのトンネル照明器具の納入が始まりました。

今回納入した器具は、プロビーム照明[※]が採用されています。また、入口照明器具には8段階の全灯具調光方式が導入されています。

※通常の照明が路面に対して垂直に照射しているのに対して、プロビーム照明は進行方向に向けて照射しています。これにより、前方の車の視認性が良くなり、より安全な走行が確保されています。

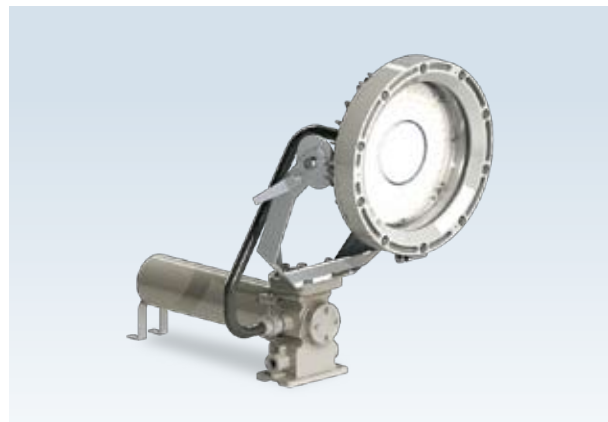


防爆形LED投光器～LZTAシリーズ～を発売

水銀灯投光器を上回る光学性能で消費電力を71%削減!

防爆エリア(Zone1、2)で使用できる防爆形LED投光器LZTAをリリースしました。

光源を水銀灯ランプからLEDにすることで消費電力を71%削減し、光学特性も水銀灯投光器を上回る性能となっています。バリエーションは制御装置併置タイプと別置タイプがあり、それぞれ水銀灯400W相当、250W相当をラインナップしています。



防爆形LED灯器具～LZABシリーズ～を発売

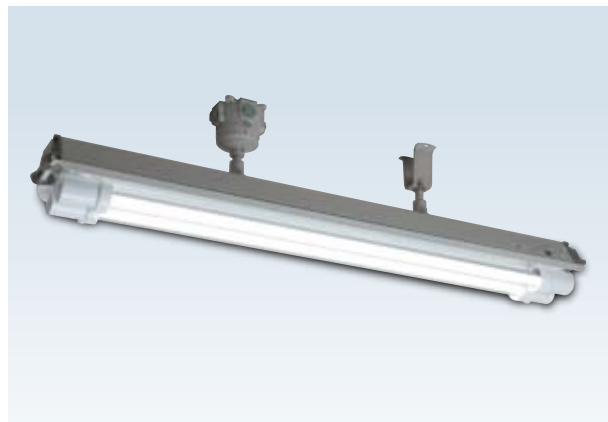
防爆形LED灯器具で初めて高出力形蛍光灯相当の明るさを実現!

防爆形LED灯器具LZAAの後継機種であるLZABをリリースしました。

高効率の直管LEDランプを採用し、FHF32形高出力形蛍光灯相当の明るさを実現しています。

消費電力は蛍光灯と比べ36%、LZAAに比べ25%の省エネ効果があります。

寿命についても6万時間とLZAAに比べ、1.5倍の長寿命を実現しました。



照明用LEDモジュール～LMIシリーズ～を発売

LEDモジュール製品に器具内丸型スリムタイプをリリース

高輝度かつコンパクト(φ36mm×56.5mm)な照明用LEDモジュール～LMIシリーズ～をリリースしました。

防水性能は、保護等級IP54に適合しています。

当社のLEDモジュール製品は、街路灯や住居玄関の多機能門灯などエクステリア照明器具に数多く採用されています。



エスシーロック(コア入り難燃タイプ)を発売

これひとつでケーブル引き込み口からの水・粉じん・ノイズをシャットアウト!

エスシーロックの「防水・防塵性能」と、フェライトコアの輻射ノイズ対策をワンパッケージ化しました。

本体の樹脂部は自己消火性で、UL94認定材料を使用しています。

幅広のパッキンで取付孔の周囲をしっかりとガードし、防水性を発揮します。(保護等級:IP67適合)



財務の状況(連結)

	前期(第66期) 平成26年3月31日現在	当期(第67期) 平成27年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	15,031	16,790
固定資産	6,357	6,948
有形固定資産	3,142	3,021
無形固定資産	325	374
投資その他の資産	2,889	3,553
資産合計	21,389	23,739
【負債の部】		
流動負債	9,783	10,795
固定負債	3,069	3,102
負債合計	12,853	13,897
【純資産の部】		
株主資本	7,734	8,694
資本金	3,380	3,380
資本剰余金	3,613	3,613
利益剰余金	939	1,901
自己株式	△199	△200
その他の包括利益累計額	701	1,059
少数株主持分	99	87
純資産合計	8,535	9,841
負債・純資産合計	21,389	23,739

	前期(第66期) 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで	当期(第67期) 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
売上高	21,195	22,514
売上原価	17,382	18,222
売上総利益	3,812	4,291
販売費及び一般管理費	3,276	3,388
営業利益	536	902
営業外収益	154	181
営業外費用	189	183
経常利益	501	900
特別利益	48	124
特別損失	28	109
税金等調整前当期純利益	521	915
法人税、住民税及び事業税	33	96
法人税等調整額	△133	△126
少数株主損益調整前当期純利益	621	945
少数株主利益	1	2
当期純利益	619	942

	前期(第66期) 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで	当期(第67期) 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	870	△1,371
投資活動によるキャッシュ・フロー	△340	△337
財務活動によるキャッシュ・フロー	△550	914
現金及び現金同等物に係る換算差額	40	28
現金及び現金同等物の増減額	20	△766
現金及び現金同等物の期首残高	2,353	2,373
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△0	—
現金及び現金同等物の期末残高	2,373	1,606

財務の状況(個別)

	前期(第66期) 平成26年3月31日現在	当期(第67期) 平成27年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	14,664	16,301
固定資産	6,111	6,375
有形固定資産	2,722	2,564
無形固定資産	153	200
投資その他の資産	3,235	3,611
資産合計	20,776	22,676
【負債の部】		
流動負債	9,683	10,613
固定負債	3,135	3,015
負債合計	12,819	13,629
【純資産の部】		
株主資本	7,532	8,437
資本金	3,380	3,380
資本剰余金	3,613	3,613
利益剰余金	738	1,644
自己株式	△199	△200
評価・換算差額等	423	609
純資産合計	7,956	9,047
負債・純資産合計	20,776	22,676

	前期(第66期) 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで	当期(第67期) 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
売上高	21,029	22,001
売上原価	17,320	17,886
売上総利益	3,708	4,114
販売費及び一般管理費	3,158	3,279
営業利益	550	835
営業外収益	156	178
営業外費用	187	182
経常利益	518	831
特別利益	35	102
特別損失	34	85
税引前当期純利益	520	848
法人税、住民税及び事業税	20	84
法人税等調整額	△125	△123
当期純利益	625	887

会社概要

会社の概況(平成27年6月26日現在)

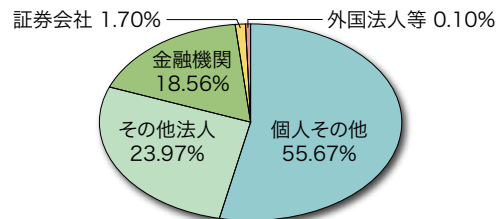
商号 星和電機株式会社
 英文名 SEIWA ELECTRIC MFG. CO., LTD.
 創業 昭和20年10月1日
 資本金 33億80百万円

事業所
 本社・工場 京都府城陽市寺田新池36番地
 北海道支社 札幌市中央区大通西7丁目1番地1
 東京支社 東京都千代田区神田美土代町3番地3
 中部支社 名古屋市東区泉一丁目21番15号
 関西支社 大阪市西区靱本町一丁目4番12号
 営業所 東北(宮城県)・新潟・京都・高松・
 広島・福岡

株主の状況(平成27年3月31日現在)

発行可能株式総数 33,782,000株
 発行済株式の総数 12,382,000株
 株主数 1,637名

所有者別株式分布状況



役員(平成27年6月26日現在)

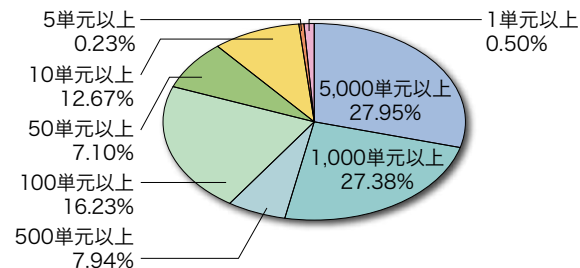
取締役社長(代表取締役) 増山晃章
 常務取締役 乾勝典
 取締役 正林啓志
 取締役 望月友彦
 取締役 春山雅彦
 取締役 寺垣敬司
 取締役 佐野廣一
 取締役 中野淑夫
 取締役 益満清輝

※中野淑夫および益満清輝は社外取締役であります。

執行役員(平成27年6月26日現在)

執行役員 八木舜
 執行役員 古田雅也
 執行役員 竹之内光彦
 執行役員 小林浩幸
 執行役員 宮下雅良
 執行役員 成平幸弘
 執行役員 芦田二朗
 執行役員 谷口浩二

所有数別株式分布状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 6月
 基準日 定時株主総会 3月31日(その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。)
 期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
 公告方法 当社のホームページ(<http://www.seiwa.co.jp/>)に掲載します。
 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

お問い合わせ先

	証券会社等の口座で株式をお持ちの場合	特別口座に記録された株式をお持ちの場合
郵便物送付先	お取引の証券会社等	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	※支払明細発行については、右欄の「特別口座の場合」と同じ郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできません。 みずほ証券株式会社 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)
未払配当金のお支払い	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 株式会社みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券株式会社では取次のみとなります。)	